

「原発ゼロ」をただちに求める署名

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

【請願主旨】

福島第一原子力発電所の事故は、いまだに収束せず、放射能被害は福島県をはじめ国民に甚大な影響を与え続けています。

全国で「原発ゼロ」の声が広がり、政府ですら“国民の過半数が原発に依存しない社会を望む”と認めざるを得なくなっています。政府のパブリックコメントでは8割が「即時ゼロ」を望んでいます。

政府は、「2030年代に原発稼働ゼロを可能とするよう、あらゆる政策資源を投入する」などとしていますが、あまりに遅すぎます。さらに、新たな核燃料をつくる再処理事業を続けようとし、「安全性が確認された原発は、これを重要電源として活用する」などとしています。これでは、「原発ゼロ」の世論に背を向け、その実現を先送りし、当面は原発に固執する立場だといわなければなりません。「原発ゼロ」の民意にこたえ、「即時原発ゼロ」を実現すべきです。

以上をふまえて、私たちは、すべての原発からただちに撤退する決断を行うことを要求します。

【請願項目】

一、日本政府がすべての原発からただちに撤退する決断を行うことを求めます。

氏名	住所

日本共産党